

2019年度 基本方針

人口減少と共に団塊の世代が後期高齢者になる2025年を迎えるにあたり、社会保障の持続可能性と効率化は必至の課題である。

しかし、介護報酬改定等により経営環境は深刻化した。また、社会福祉法人制度改革においては、ガバナンスの強化、情報公開の促進に透明性の確保や地域公益活動の義務化等様々な議論がなされている。

当法人東備福祉会は、2010年7月に開始し2019年7月より10年目に突入します。

この9年間、職員一丸となって法人の信頼を得るよう安心・安全・柔軟な対応と運営してきました。

備前市内にとって必要不可欠な存在になってきたと思います。

介護ニーズにおいては、各種加算の取得も視野に入れ、質の高いサービスの構築し、多様化されるニーズに柔軟に対応できるように常に新しいことを取り入れ、研鑽しなければいけません。

消費税のアップによる経費の見直し、それぞれの事業（特養・ショート・小規模・有料・居宅）が安定的に稼働できるよう、常に検証と課題の抽出を遂行していきます。

特に人材不足においては拍車がかかっています。当法人においても2019年度、3名のベトナム人を外国人技能実習生として迎えます。生活習慣は勿論、言葉も完全ではなく、技能においてはほとんど経験がありません。職員全員が一から教えていくという立場になります。改めて現在の自分の介護理念や技術を再認識し見つめ直すいい機会になると思います。法人内研修や外部研修を積極的に行い、自己研鑽にも努める。

働き方改革の中で働きやすい職場環境の構築も課題となります。又、ホームページやSNSの活用も積極的に行い、法人のPRも行い、人材確保にも繋げていきたいと思ひます。

2019年度 事業計画

社会福祉法人

東備福社会

1. 基本理念

1. 私達は愛情と尊敬をもって接し、お年よりにとって何が最良かを一緒に考え実践します。
2. 私達は地域社会に安心を提供し、いつも親近感のわく、あたたかい介護を行います。
3. 私達は地域の方々の健康と生活を守ります。
4. 私達は介護を通じて自己実現を計り、もって多大なる社会貢献を果たすと共に自らも幸福となります。
5. いつでも安心して生活できるように思いやりの心・温かい言葉・親切な行動・明るい笑顔で接します。

2. 基本方針

① 適切で柔軟な事業実施

介護保険制度だけではなく、社会福祉法改正や、行政施策を含めた地域ニーズに対応する柔軟な福祉サービスの提供を目指す。各事業所の連携を図り、複合的・総合的なサービスを進める。

② サービスの質の向上と自己研鑽

介護サービスを業としている以上、サービスの質の向上に常に取り組むことは当然の努力である。各、加算の取得も視野に入れ、「経験と勘」だけに頼らず、「根拠」をもって介護を展開していくことが求められる。サービス利用者への説明責任を果たすためにも、各種研修等を通じ、様々な課題に取り組み、自己研鑽にも努める。

③ 地域への貢献

社会福祉法人として「地域公益的な取組」を責務とすることが法律上明記されたことから、積極的な地

域貢献活動が求められる。これまでも地域課題の把握、地域連携体制の構築等に努めてきたが、これまでに蓄積したノウハウを生かして、新たな公益的な取組を展開していく。

④ 人材の確保・定着・育成

ホームページやSNSを積極的に活用し人材の確保にも繋げていく。又、外国人技能実習生を迎え入れることにより全職員が今一度、己の知識、技術の見直しを図る。なぜ、そうするのか、なぜ、しないといけないのか等、目的と根拠をしっかりと持って取り組んでいく。働き方改革の取組みでもある有給休暇取得などの福利厚生にも努める。

⑤ 適正な事業管理と利益の確保

各事業所の稼働率を常に念頭に入れ、通年を通して安定した収益確保に努める。消費税のアップも視野に入れ、経費の見

直しを行い、無駄な経費の削減を実施して、より一層適正な事業管理に努める。